



CS だより

発行:江田島市立江田島中学校 学校運営協議会

5月20日(水)に第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、授業を参観しての感想や学校における働き方改革の取組方針についての協議が行われました。

授業の様子と頂いたご意見



- ・美術の授業では、私が学生の時と違って専門的に教えられている。
- ・互いに会話があり、描く場所を見つけるまでに肩を寄せ合っている姿から、生徒の思いやりを感じる。

- ・ほほえみ学級では生徒と教師が1対1で熱心に指導ができています。
- ・SSR では1つのテーブルで課題にみんなで取り組むことで生徒にとって良い時間を過ごせている。



- ・各授業で落ち着きと熱心さが感じられる。自分の思いを出すことが難しい生徒に対してサポートできる体制が整っていることが教室環境から伝わる。
- ・教室に行った時に挨拶ができる生徒が多い。

学校における働き方改革の取組方針について

1)教育現場での「働き方改革」が目指すものとは？

→生徒にとって教員は「学ぶ環境」の一つであり、働き方改革の目的が教員の働く環境を改善することとして取り組まないと、働き方改革の成果がどう実現したかがわかりづらい。また、教員自身が改革を進める当事者だと自覚し、日々生徒たちのための行動をしていく必要がある。

2)校務分掌について

→「分掌の個人負担のねじれをなくす」ということは、教員の個人能力に差があり難しい。しかし、それでもしなければ他の教員の力量もつかないし、教員の転勤があった際に困ってしまう。したがって、非常に良いことだと思う。



银杏会長・藤井副会長よりご挨拶



江南地区で自治会長をしておりますご縁から、学校運営協議会の会長を務めることとなりました银杏秀作です。よろしくお願いいたします。

中学校は生徒の皆さんが自分の未来を拓く場所であると思いますが、地域に愛着を感じながら学校生活を送ってもらおうと、地域さらには江田島市の未来を拓くことにもつながるのではないかと考えます。

本協議会は「地域とともにある学校づくり」を目指して4月にスタートしたところですが、既に行われた2回の協議会では、職員のみなさんが「働き方改革」を進めながらも、生徒一人一人に向き合う姿を伺い、知ることができました。

地域、保護者の皆様には、本協議会の運営に関心をお寄せ頂き、ご意見・ご支援を頂戴できましたら幸いです。一年間よろしくお願いいたします。



この度学校運営協議会の副会長を務めさせていただくことになりました、藤井ひかりです。よろしくお願いいたします。

今年度より、江田島中学校でもCSがスタートしました。学校と地域がともに力を合わせながら、生徒たちの成長を見守り、支えていく取組です。私自身、まだ手探りの部分もありますが、地域の一員としてそれぞれの立場でできることを持ち寄りながら、江田島中学校らしいCSのあり方を少しずつ形にしていきたいと考えています。

地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

NEW 江田島中学校体育祭!

5月30日(土)に体育祭が開催されました。今年から『学校運営協議会』が始まったこともあり、3年生の学年種目と全学年のクラス対抗リレーで、地域の方や保護者の方に参加していただきました。これまでとは違った『地域とともにある体育祭』に会場も大盛り上がりでした!

岡田教育長も走られました!



事務局からのお知らせ



先日の体育祭では、多くの地域の方々に「生徒が良い表情をしていました」などの温かい声をいただきました。この経験を、『地域とともにある学校』の実現に向けて十分に活かしていきたいと思えます。

今後も江田島中学校へのご支援をよろしくお願いいたします。